授 業 科目名	【Ｇ】 ―――― 【Ｈ】 ―――― 【Ｉ】 教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】ー 【Ｈ】ー 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】ー 【Ｈ】ー 【Ｉ】2

科目区分	基本科目		
授業形態	対面開講		
担当形態	単　独		
施行規則に定める科目区分又は事項等			
サブタイトル	ニュースリテラシー実践：読む・考える・伝える	担当者	見崎　浩一

授業概要	【概要】	【概要】 ニュースリテラシーとは、ニュースを正しく読み解き、判断する、活用する力のことで、フェイクや偏った情報に惑わされず、信頼できるニュースを選ぶために必要な能力です。 この授業では、マスメディアから発信されるニュース、特に新聞記事を中心に、その役割や仕組み、取材の仕方、記事の執筆を実践的に学びながら、大学生として「読む」「聞く」「書く」「話す」の基礎的なスキルの向上を目指します。 ニュースに触れる習慣を身につけ、一般教養や時事問題への関心を据えながらグループワークやディスカッションを通じて思考力を鍛えます。自ら考えを発信するプレゼンテーションにも取り組み、ニュースを「読み解く」だけでなく、「主体的に考える」「議論できる力を養う」ことを目指します。 【実務経験を活かした授業】 新聞記者や編集デスクなど全国紙新聞社に30年以上勤めたキャリアを持つ教員が、最前線で培った情報収集の技術や事実を正確に伝える能力をベースに、学生たちとニュースリテラシーを考えます。緻密な取材手法や客観的な報道姿勢を通じて、学生は情報やニュースを読み解く基礎的な能力を身につけ、世界の出来事をより深く理解し、自らの意見等を持つ力を養います。
	【到達目標】	① ニュース記事の構造や要素を把握し、ニュースの背景や文脈を理解して情報を正しく理解する能力を身につける。 ② 新聞記事やニュースを通じて、情報を整理し、簡潔で分かりやすく書く技術を磨くことができるようになる。 ③ グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて他者との意見交換やプロジェクトの企画・実行能力を高めることができるようになる。
履修条件	特にありません。	

アクティブラーニングの方法	【 ー 】	事前学習型	【 ー 】	反転授業	【 ー 】	調査学習	【 ー 】	フィールドワーク
	【 ◯ 】	双方向アンケート	【 ◯ 】	グループワーク	【 ー 】	対話・議論型授業	【 ー 】	ロールプレイ
	【 ◯ 】	プレゼンテーション	【 ー 】	模擬授業	【 ー 】	PBL	【 ー 】	その他

ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP（ディプロマ・ポリシー）①	ー　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）②	◎　（よく当てはまる）
	DP（ディプロマ・ポリシー）③	◎　（よく当てはまる）
	DP（ディプロマ・ポリシー）④	ー　（当てはまらない）

他科目との関連性	大学における学び（特に2年次以降）の基礎を身につけることを目的とした科目です。 本授業で基礎知識・基本スキルを伸長し、教養演習へとつなげていきましょう。
教科書	「新聞社が作った探究学習教材『記者トレ』」毎日新聞社（1,100円・税込）
参考書	外岡秀俊（2006年）『情報のさばき方 新聞記者の実戦ヒント』朝日新書 池上彰（2019年）『考える力と情報力が身につく 新聞の読み方』祥伝社
評価方法	授業ごとの成果物や課題等を点数化して、加算方式で評価します。 各授業の振り返りと学習の成果物（30％）、授業演習課題（30％）、アクティブラーニング取り組み姿勢等（10％）、インタビュー記事レポート（15％）、最終課題の成果物と発表（15％）
フィードバック方法	Google Classroomを使用し、提出されたリアクションペーパーや演習課題等について、コメント等のフィードバックをします。
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」とする。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など、評価不能の場合には「F」とする。

科目コード A000-2-Y　（科目一覧番号：56）

授 業 科目名	【Ｇ】―――― 【Ｈ】―――― 【Ｉ】教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】ー 【Ｈ】ー 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】ー 【Ｈ】ー 【Ｉ】2

授業内容	新聞記者の仕事をもとに「情報を読み解く力」、「考える力」、「伝える力」を育むプログラム「記者トレ」(Step1～Step7）をベースに、日々のニュースや時事問題を題材に記事を読み解いて見出しをつけたり、インタビュー記事を書いたりします。 〈１〉イントロダクション：マスメディア発のニュース　（第1回） ニュースとは？ 〈２〉新聞メディア　（第2回～第3回） マスメディアとして影響力がある「新聞」とは何か？ 新聞の役割や構造について学ぶ。この新聞に掲載されている１本、１本の記事を書いている新聞記者とは？ 記事の書き方、記者の仕事や取材活動について理解する。 新聞のニュースを題材に、ニュースを分析し、ディスカッションする。 〈３〉記者トレ・基礎編　（第4回～第9回） Step1. キーワードを探す　記事の要点をつかむ。 Step2. 見出しをつける　情報を簡潔にまとめる力を養う。 Step3. 言葉で表現する　記事をもとに表現力を強化。 Step4. 情報を整理する　伝えたい内容を明確に整理。 〈４〉記者トレ・実践編①（第10回～第12回） Step5. インタビュー記事を書く　聞く力、伝える力を鍛える。 〈５〉記者トレ・実践編②（第13回～第15回） Step6. 特集記事を書く　自分で問いを立て、深掘りした記事を作成。 Step7. 記事をプレゼンする　発表スキルを向上させる。
予習内容	・新聞の1面に掲載されている記事を毎日読むこと。あるいはNHKのニュース（19時か21時）を毎日視聴すること。あるいはインターネットのニュース（Yahoo!ニュース）に1日10分以上、毎日接すること。 ・自分のテーマに関する資料を収集すること。 ・プレゼンテーションの準備をすること。 ・授業ごとの予習時間は90分程度を目安としてください。
復習内容	・授業で取り上げたニュース記事を要約し、その内容や主題を把握する。要約した記事に対して自身の意見や考察を加えることも求めます。 ・日常生活で遭遇するニュースや情報に対して、批判的あるいは吟味的に考える習慣を身につけること。 ・授業で行ったグループディスカッションの内容や議論を振り返り、自身の意見や考えを整理すること。 ・授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。
その他	GoogleClassroomやGoogleフォーム等を活用します。 ※Iカリ：【必履修（〇お）】

科目コード A000-2-Y　（科目一覧番号：56）